

ベルギーの

びっくりぽん！

ベルギーに長く住んでいると、様々なことに巡り合います。皆さんのご感想をお寄せください。mail@petits-pois.be

車も日光浴

週明けに近くのスーパーに買い物に行ったら、駐車場に車が一杯。「えっ、皆さん天気良かったので、週末は買い物もせずに出かけたの？それにしても平日のこんな時間（15時過ぎごろ）に・・・。会社には行かなかったの？」と思いながら、建物のファーストフロア部分に行くと（ここも駐車場なのですが）、ほとんど車がありません。つまり、天気がいいから、皆さん太陽の当たるところに車を停めているのです。太陽に当たってビタミンDを増やすのはいいこと。でも、それは人間の体のことで、車を温めておくと、購入した生鮮食料品には良くない気がするのですが。それに、炎天下に車を置いておくと車内も暑くなり、運転もしづらくなると思うのは、私だけでしょうか？私には、とても不思議な現象です。



フライドポテトの運命

ベルギーの主食はジャガイモ。中でもフライドポテトは、家族みんなに人気の一品です。冷凍したものから、生のジャガイモをむいて自分で作るなど、それぞれの作り方があります。この揚げたジャガイモにマヨネーズなどのソースをつけて食べるのが、ベルギー式。街中のフライドポテト屋さんに行けば、ソースも色々な種類があります。



ところで、家庭で作ったフライドポテト、作り過ぎて余ってしまったらどうしますか？翌日ベーコンと炒めてみると、また違った感覚でジャガイモを食べられると思うのですが、ベルギー人は、冷めたジャガイモは絶対に口にしません。もったいないけど、残ったジャガイモは捨ててしまいます。翌日もう一度揚げ直すなど、タブーです。

日本に行ったことのあるベルギー人から、「冷えたフライドポテトが、ちょこっと付け合わせ野菜として出てきた。こんなもの食べれたもんじゃなかったよ。稼いでいるくせに、日本人は冷えたフライドポテトを食べるんだね。」と笑われました。国が変われば、生活習慣も変わりますね(笑)。

良心的な対応

旅先で知り合った人が、近くに住んでいる電気工事屋さんと分かり、早速簡単な工事を頼みました。まあ、ベルギー人だから、約束の日には来てくれるだろうけど、時間通りに来るのは無理かなと思い、気楽に待っていたら、予約時間前に玄関のチャイムが鳴りました。郵便配達人かなとドアを開けてみると、なんとこの電気屋さんがニコリ笑って「おはよう」と声をかけてくれました。思わず、「どうして予約時間前に来れるの？遅れても当然かと思って気にしていなかったんだけど」と話すと、「僕は、遅刻が大嫌いなんだ。だから余裕を持って予約を入れ、必ず予約時間にお客さんの所に行くようにしているんだ。お宅は我が家のすぐ近くだから、時間前に来ちゃった。大丈夫だよな。」との返事。彼のプロ精神に脱帽でした。



ゴミ捨て場

一戸建ての家に住んでいる場合、ゴミ袋は玄関前に出しておきます。ブリュッセルは、曜日によって一般ゴミの白い袋、紙類の黄色い袋、再利用できるペットボトルや空き缶を入れる青い袋、庭の雑草や枯葉を入れる緑の袋、台所の生ゴミを入れるオレンジの袋と、袋を出す日が細かく分かれています。ある日、我が家の前に黄色い袋が置いてありました。「誰が置いたのかな、今日は黄色い袋の日ではないんだけど」と思っていたのですが、他人のゴミ袋をうちで保管したくないので、無視していました。夕方、買い物時に確認したら、このゴミ袋はなくなっていました。「置いた人が持ち帰ったんだな、偉いなあ」と当たり前のことですが喜んでいました。でも誰が他人の家の前に自分のゴミを置くのでしょうか。どうやら、最近引っ越して来た隣の人が、自分の家の前にゴミ袋を置かないみたいです。家の前を汚したくないのか、それとも収集者がゴミ袋をまとめて持って行けるように気を使っているのか分かりません。ゴミ袋から出る汚れは水で洗い流せるので、家の前が汚れても大事には至らないと思うのですが。単に清掃職員への配慮と思うことにして、私はゴミ袋を持ってくるのを無視することにしました。

